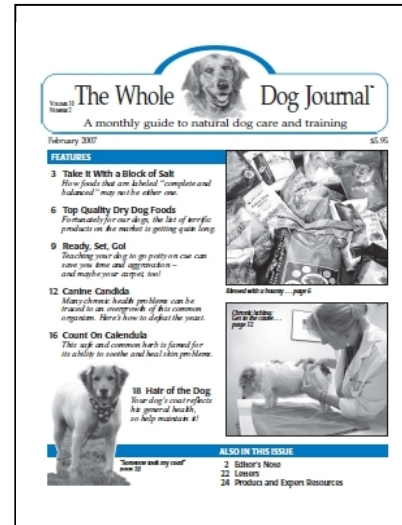


The Whole Dog Journal誌とは

ドッグフードの安全性に関して、高い見識と中立性が大きく支持されており、毎年定期的にドッグフードやおやつなどの成分を独自に評価してオススメのものを推薦している、アメリカで最も権威があるといわれている犬の専門雑誌のひとつです。

バックトゥベーシックスは、この『The Whole Dog Journal』誌において、**10年連続で最高級品質と評価され続けている**ドッグフードです。



『The Whole Dog Journal』誌のドッグフード選定基準

- 高品質の動物性タンパク質を多く含んだものを選びます。
- 副産物や、家禽副産物を含むフードを認めません。
- どの種類のものか明示しない脂肪分やタンパク質を含むものは認めません。
- 穀物や野菜を使用したものを選びます。
- 人工の着色料・香料・防腐剤を原材料に含むものは認めません。
- 甘味料が加えられているものは認めません。
- オーガニック(有機)な原材料を使用したものを選びます。

一般的に高級ペットフードと言われているものの中にも、**副産物(肉以外の部分。内臓や皮や毛など。)**や**アニマルファット(元が不明な低品質で低価格のミックス脂肪分の別名。)**、**人工の防腐剤**を含んでいるものもあります。

このうち**副産物**には、**有害物質が蓄積されている可能性**があります。高品質なら問題がないようですが、副産物の品質を確かめることは困難です。

『The Whole Dog Journal』誌の基準がいかに厳しいものが、お分かりいただけると思います。